

朝潮橋駅(地下鉄中央線)

慶喜ゆかりの唯称寺と勝利の女神像



「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.114

地下鉄朝潮橋駅

①朝潮橋

戦前、安治川と三十軒堀川を結んで、いまの八幡屋公園のそばに井路川がありました。その井路川に架かっていたのが朝潮橋です。

②唯称寺

石田1丁目あたりは区画整理事業で安治川が拡幅された場所ですが、かつてそこに湊屋町がありました。250年前に湊屋吉左衛門が新田開発してつくられた土地が、再び安治川底に沈められたわけですが、そこにあった寺院が唯称寺です。慶応4年(1868)には、鳥羽伏見の戦いで指揮をとっていた将軍・徳川慶喜が大坂城を脱出して海路江戸へ逃げようとしたとき、天保山に停泊していた軍艦へ向かう途中で休息したといいます。また寺の門前には「松の鼻の渡し」があり、慶喜はその渡船に乗って天保山へ逃げていったと推測されています。

③三先天満宮

このあたりの新田には尻無川の水が農業に使われていました。その水を配水する樋が3本並んでいたところが三ツ樋町で、その先の場所が三先です。三先天満宮は池田屋大吉が新田開発の成功を祈願して勧請したもので



す(天保6年(1835))。末社に「寝牛社」があり、牛の石を煎じて飲むと眼病に効くというので削り取られてしまい、いまは頭と首がありません。

④勝利の女神像(池島公園)

港区は昭和初期から地下水くみ上げによる地盤沈下に悩まされました。そこで昭和21年(1946)、区内のほぼ全域の土地を約2メートルも盛り土して嵩上げするという前代未聞のプロジェクトがスタートしました。安治川、三十軒堀川、天保山運河を浚渫



した大量の土砂を盛り土に活用すると同時に大阪港の大改修を行い、その一大プロジェクトは20年後に完了し、いまの港区ができあがりました。池島公園の「勝利の女神像」は、その港地区土地区画整理事業を記念して昭和55年(1980)に大阪市によって建てられたものです。

⑤八幡屋公園

(大阪市中央体育館・大阪プール)

大正12年(1923)に12ヘクタールの都市公園として建設されました。戦後に大阪市電の港車庫となり、その後、市営地下鉄港検査場となり、平成9年(1997)、「なみはや国体」のときに大手前にあった大阪市中央体育館を移設し、同時に扇町にあった大阪プールも移しました。体育館メインアリーナは1万人収容、プールには3500人が収容できます。体育館は外観が小高い自然の山(グリーンヒル)になっためずらしい建物です。

地下鉄朝潮橋駅

